

地域資源（温泉熱）活用プロジェクト（大分県別府市）

＜再生可能エネルギーを活用した不動産事業＞

日本一の湧出量と源泉数を誇る別府市では、地域資源である温泉を市民生活（医療、浴用など）から観光、産業など幅広く活用しています。

その地域資源である温泉を新たに掘削・活用し、再生可能エネルギーである地熱バイナリー発電所を企画開発して売電します。

温泉の熱エネルギーを活用したあと、その高温で成分が豊富な温泉を地域のビニールハウス、ホテルに循環させ、さらに温泉地別府の観光振興のため温浴施設を新たに企画し、地域の活性化を目指します。

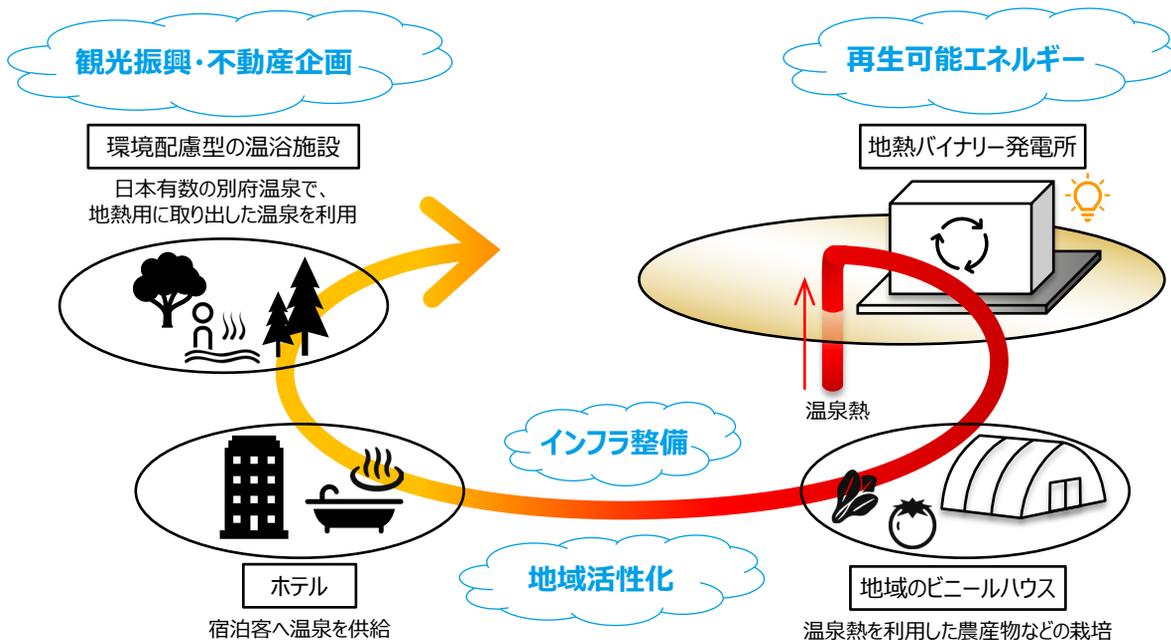
地域資源である温泉熱を利用した再生可能エネルギーの企画開発と併せ、地域の発展、観光振興および施設開発と、これら施設の継続的な管理を行い、地域活性化に貢献します。

＜プロジェクト概要＞

化石燃料（石油など）や商用電力に依存しない効率的な熱エネルギー利用の取組みにより、CO2削減効果の高い事業を目指します。

- 高温の温泉水と蒸気を利用した地熱バイナリー発電所（高圧）の企画開発
- 温泉の熱エネルギーを循環させるインフラ（配管）整備
- 地域のビニールハウスやホテルに温泉を供給
- 観光振興を目的とした魅力的な温浴施設の企画開発

＜プロジェクト計画＞



熱エネルギーを循環利用した脱炭素化の取組み

再生可能エネルギー



不動産

再生可能エネルギーと不動産事業を通じて持続可能な社会の実現のために貢献します。